

看護の専門性

尾道市立市民病院 集学的がん治療センター
がん看護専門看護師/緩和ケア認定看護師
渡辺 陽子

本日の内容

- 自己紹介
- 日本看護協会資格認定制度
- 専門看護師とは
- 認定看護師とは
- 岡山大学大学院での学び
- がん看護専門看護師としての役割
- 今後の課題

資格認定制度

- 日本看護協会は、国民への質の高い医療の提供を目的に、資格認定制度を運営している
- 「専門看護師」「認定看護師」「認定看護管理者」の3つの資格があり、認定と5年ごとの認定更新を行っている

※「専門看護師」「認定看護師」「認定看護管理者」の3つの名称は日本看護協会の登録商標

専門看護師とは

- 日本看護協会専門看護師認定審査に合格し、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識及び技術を深めた者

専門看護師認定審査資格

1. 看護系大学院修士課程修了者で日本看護系大学協議会が定める専門看護師教育課程基準の所定の単位（総計26単位または38単位）を取得していること
2. 実務研修が通算5年以上あり、うち3年間以上は専門看護分野の実務研修であること

特定されている専門看護分野

- ①がん看護
- ②精神看護
- ③地域看護
- ④老人看護
- ⑤小児看護
- ⑥母性看護
- ⑦慢性疾患看護
- ⑧急性・重症患者看護
- ⑨感染症看護
- ⑩家族支援
- ⑪在宅看護

2012年7月現在, 11分野

専門看護師の役割

専門看護分野において

- ① **実践**：個人，家族及び集団に対して卓越した看護を
実践する
- ② **相談**：看護職を含むケア提供者に対しコンサルテー
ションを行う
- ③ **調整**：必要なケアが円滑に行われるために，保健医療
福祉に携わる人々との間のコーディネーションを行う
- ④ **倫理調整**：個人，家族及び集団の権利を守るために，
倫理的な問題や葛藤の解決をはかる
- ⑤ **教育**：看護職に対しケアを向上させるため教育的役割
を果たす
- ⑥ **研究**：専門知識及び技術の向上並びに開発をはかるた
めに実践の場における研究活動を行う

がん看護専門看護師

分野名	特定年月	認定開始年月	英語表記	分野の特徴
がん看護	1995.11	1996.6	Cancer Nursing	がん患者の身体的・精神的な苦痛を理解し、患者やその家族に対してQOL（生活の質）の視点に立った水準の高い看護を提供する

専門看護師数

- 全国の専門看護師：1466名（第1107号）
- がん看護専門看護師：581名
- 広島県内の専門看護師：31名（うち、がん看護専門看護師：17名）

2015年1月7日現在

認定看護師とは

- 日本看護協会認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる者

特定されている認定看護分野

- 1) 救急看護
- 2) 皮膚・排泄ケア
- 3) 集中ケア
- 4) 緩和ケア
- 5) がん化学療法看護
- 6) がん性疼痛看護
- 7) 訪問看護
- 8) 感染管理
- 9) 糖尿病看護
- 10) 不妊症看護
- 11) 新生児集中ケア
- 12) 透析看護
- 13) 手術看護
- 14) 乳がん看護
- 15) 摂食・嚥下障害看護
- 16) 小児救急看護
- 17) 認知症看護
- 18) 脳卒中リハビリテーション看護
- 19) がん放射線療法看護
- 20) 慢性呼吸器疾患看護
- 21) 慢性心不全看護

認定看護師の役割

特定の認定看護分野において、

- ①個人、家族及び集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を
実践する (実践)
- ②看護実践を通して看護職に対し指導を
行う (指導)
- ③看護職に対しコンサルテーションを行
う (相談)

緩和ケア認定看護師の役割

- ①徹底した苦痛症状の緩和及び療養の場に応じた患者・家族のQOLの向上
 - リンパドレナージ
 - 呼吸理学療法
 - 口腔ケア
- ②患者・家族のグリーフケア

認定看護師数

- 全国の認定看護師：14172名（第1450号）
- 緩和ケア認定看護師：1641名
- 広島県内の認定看護師：383名
（うち、緩和ケア認定看護師：61名）

- 当院の認定看護師：8領域9名

2015年1月7日現在

認定看護師に対する 診療報酬上の評価

- 感染防止対策加算
- 糖尿病透析予防指導管理料
- 糖尿病合併症管理料
- 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- 呼吸ケアチーム加算
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算

がん患者カウンセリング料

- 2010年度の診療報酬改定で新設
- 悪性腫瘍と診断された患者に対して、患者の心理状態に十分配慮された環境で、がん診療の経験を有する医師（PEACE研修修了医師）及びがん患者の看護に従事した経験を有する専任の看護師（認定看護師、専門看護師）が適宜必要に応じてその他の職種と共同して、診断結果及び治療方法等について患者が十分に理解し、納得した上で治療方針を選択できるように説明及び相談を行った場合に算定する。
1患者につき、1回かぎり500点
- 2014年度から算定対象の拡大→2回目以降200点6回

在宅患者訪問看護指導料

- 2012年度の診療報酬改定で新設
- 訪問看護ステーションの訪問時に、医療機関に勤務するがん関連のスペシャリストが同行し、緩和ケアニーズを持つ悪性腫瘍の患者に看護を提供した場合
- 1患者につき、1ヶ月に1回、1285点が請求可能
- 褥瘡のある患者：皮膚・排泄ケア
- 化学療法患者：がん化学療法看護

岡山大学

- 中四国の8大学と共同申請した文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン「中国・四国広域がんプロ養成プログラム～チーム医療を担うがん専門医療人の育成～」(平成19年度採択)の中心として活動開始
- 保健学研究科ではがん医療に携わるコメディカル養成コース(がん看護専門看護師コース)に積極的に参画, 長期履修制度あり

大学院での学び

- 試練を乗り越えての院修了
- 病院関係者のみなさま，大学の教授，家族，友人，多くの方のご支援をいただいたことに感謝
- 大切な人との出会いと別れ
- 患者のつらい思いに寄り添い，手を差しのべる優しさとあたたかさ
- これからは，品格のある看護師，オトナの女性（に近づけるよう）を目指したい

専門看護師と認定看護師の違い

- がん看護専門看護師（OCNS）：がん患者の身体的・精神的な苦痛を理解し、患者やその家族に対してQOL（生活の質）の視点に立った水準の高い看護を提供する
- 認定看護師（熟練した看護）：患者、家族に一番近い存在でケア
- 専門看護師（卓越した看護）：黒子、ケアの質向上に向けた教育的な関わり、組織をマネジメントする要素やリーダーシップ力も必要となるケア

がん看護専門看護師としての役割

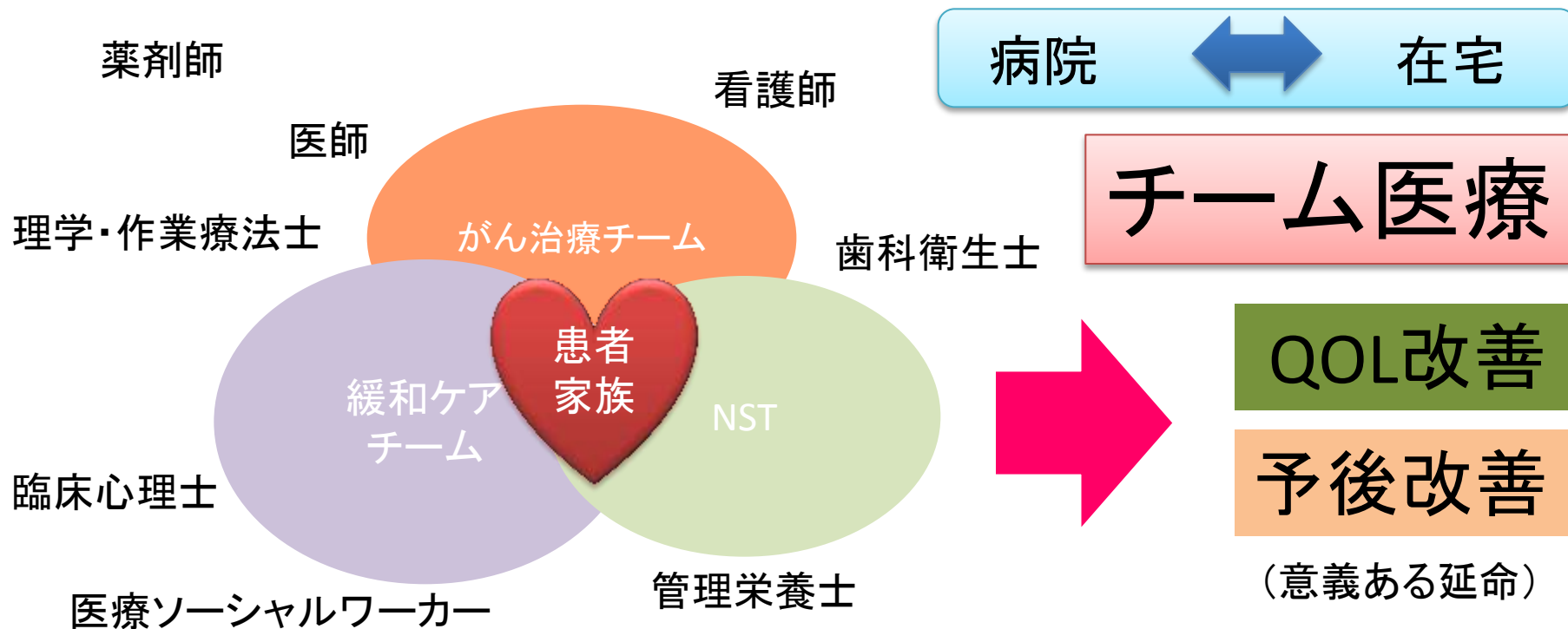
- 緩和ケアチーム専従看護師：がん患者の在宅調整および地域との連携の役割
- 入院中のがん患者が退院，在宅へ移行時には，全例緩和ケアチームが介入し，地域医療連携室とともに在宅支援を行っている
- がん医療を受ける患者，家族の療養生活におけるさまざまな調整→希望する療養生活の場，治療内容における意思決定支援

在宅緩和ケアを支援する看護師として

患者の意思決定に関わる家族への対応

- 精神発達遅滞のある患者や精神疾患患者、^認知症のある患者においては、患者自身に^意思決定能力が乏しく、患者の家族に決定がゆだねられる
- 患者の自己決定が優先されることが第一原則であるが、患者家族の関係性や今後の予測される家族の負担に最大限留意をする
- 家族が無力感や後悔の念を抱くことのないよう、決して医療者の思いが先行しないように方向性を示していかなければならない

がんになっても安心して暮らせる社会



緩和ケアを土台にした
がん医療を受ける患者への支援



By YOKO.Watanabe
Thank You!

今後の課題

- 認定看護師，専門看護師を活用していただけるようさらに関係性をつくる
- がん患者と家族を多職種，他部門，そして地域の連携を強化し，支えていく
- チーム医療の充実を図り，看護の専門性を発揮する
- がん患者以外の緩和ケアも
- 後継者の育成